

会 議 録

1 会議名

平成30年度第10回中郷区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

（1）協議（公開）

地域活動支援事業の検証・検討等に基づく見直しについて

自主審議事項について

（2）その他（公開）

3 開催日時

平成30年12月20日（木）午後6時30分から午後7時35分まで

4 開催場所

中郷区総合事務所 第4会議室

5 傍聴人の数

1人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・委員：荒川清尊、岡田雅範、岡田龍一、坂田浪平、高橋京子、高橋達也、
竹内昭彦、竹内靖彦、古川由美子、水嶋敏昭、陸川昇一

・事務局：中郷区総合事務所 木村雄二所長、小嶋淳一次長、城戸俊夫市民生活・
福祉グループ、教育・文化グループ長

総務・地域振興グループ 丸山良彦班長、藤井寿季主事

〔 以下、総務・地域振興グループは総務G、市民生活・福祉グループは
市民G、教育・文化グループは教育G、グループ長はG長と表記 〕

8 発言の内容（要旨）

【丸山班長】

・会議の開会を宣言

【高橋会長】

・挨拶

【丸山班長】

- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告。

【高橋会長】

- ・会議録確認：「岡田龍一」委員と「高橋京子」委員に依頼。

始めに、協議事項(1)の「地域活動支援事業の検証・検討等に基づく見直しについて」協議する。この件については、先月の地域協議会で報告させていただいた「会長会議の開催結果」の通り、各地域協議会において見直しの必要性について検討を進めることとされているものである。これを踏まえ、先に検証を行った項目ごとに当区の検証結果と市の見解等が資料No.1によりまとめられている。この資料を基に、本日はそれぞれの項目ごとに見直しの必要性の有無について協議を行いたいと考えている。

先ず、制度全般についてだが、項目は2項目あり、そのうちの1つ目は「事務局の役割」である。これに対する当区の検証・検討結果は「必要な対応を行っているため、現状どおりが適当である。」としている。これまでも、事務局では提案団体に対する相談窓口を含め、アドバイスやチェックを適切に行い進めてきている。現状どおりとしてよろしいか。

－全委員賛同－

【高橋会長】

全委員より賛同いただいたので、そのようにする。それでは、必要性の有無欄に「無」と記入いただきたい。次に、2つ目は「市類似補助事業との関係」である。これに対する当区の検証・検討結果は「市の補助制度を優先する制度設計に見直す必要がある。」としている。これは、以前に当区が意見書を提出した、防犯灯のLED化を例にした場合、当区は新たに創設された補助制度に沿って進めているが、他の区では依然として地域活動支援事業を使って進めているところもある。このため、このような検証・検討結果とした。当区としては特に問題はないと思っており、市も現行の取扱いを継続することが望ましいという見解である。

【高橋委員】

中郷区としては、制度設計を見直す必要があるとしたが、結果的に市の見解に従うということになるのか。

【高橋会長】

繰り返しになるが、他の区では依然としてLED化を提案事業に挙げてくる事例が

あったので、敢えて市へ提言したものである。今後の事例にもよるが、今回は市の見解どおりでよいのではないかと考えている。

【高橋委員】

承知した。

【高橋会長】

それでは、現状どおりとしてよろしいか。

－全委員賛同－

【高橋会長】

全委員より賛同いただいたので、そのようにする。必要性の有無欄に「無」と記入していただきたい。次に、採択方針についてである。これに対する当区の検証・検討結果は「現状の取扱いを継続し、各区で適宜見直しを行うことが適当である。」としている。一方、市の見解では、幾つかの見直しのパターンが示されているが、当区としては現状どおりとしてよろしいか。

－全委員賛同－

【高橋会長】

全委員より賛同いただいたので、そのようにする。必要性の有無欄に「無」と記入していただきたい。なお、このように一つ一つ行くと非常に時間がかかるため、以降は私が個人的に見直しの必要があるのではないかと感じている項目を幾つか挙げたい。先ず、項目のNo.10「追加募集」である。これに対する当区の検証・検討結果は「追加募集は1回までが適当である。」としている。一方、市の見解は「予算消化と見なされることが無いよう、追加募集を行わないことも考えられる。」ということである。言い換えれば、追加募集は市で強制するものではないので各区で対応してもらいたいとのことである。ちなみに、他の区では追加募集しても提案がされてこないところもあるようである。この項目は、次回念入りに検討した方がよいと思うが如何か。

－全委員賛同－

【高橋会長】

全委員より賛同いただいたので、そのようにする。必要性の有無欄に「有」と記入していただきたい。次に項目のNo.14「提案団体の自立化に向けた取組」である。これに対する当区の検証・検討結果は「一律に自立化を促すのは困難であるため、現状どおりの取扱いが適当である。」としている。一方、市の見解では補助率の上限を設ける

旨見直しのパターンが示されている。近年、継続の事業は非常に多い傾向であり、これにより団体の自立化に向けた努力がどうしても薄らいでしまうことが危惧される。このような意味から段階的に補助率を整理するということである。

【古川委員】

今年度は、当区も追加募集を行わなければならない状況となった。このような中、せっかく提案してきた団体が2年目3年目となり、補助率が下がり募集できないことになれば、事業そのものが成り立っていけないのだろうか。提案する団体が誰もいなくなり、逆に何か提案してもらいたいと頼むような状況になってはまずいのではないか。事業の内容によって、いろいろ考えるのはよいと思うが、一律に整理するのはどうかと思う。

【高橋会長】

私もそのように感じている。提案団体は、サークル的な団体と公的な面で活動している団体に大きく分けることができるが、当事業の性質上どちらかというとなら公的な面で活動している方がウエートは高いと思われる。この項目は将来的な課題であって、今回の見直しは時期尚早なのかと思っている。

【水嶋委員】

確かに、なかなか新たな事業が出てこない現状だ。

【高橋会長】

市全体で見ても同様の傾向となっている。

【陸川委員】

事業自体は、決して利益を生むためのものではない。市が予算を出して行うことであれば、それはそれでよいと思う。それを踏まえての支援事業なのではないだろうか。現状どおりでよいのではないか。

【高橋会長】

それでは、この項目については今回見直しの必要なしということで、現状どおりとしてよろしいか。

—全委員賛同—

【高橋会長】

全委員より賛同いただいたので、そのようにする。必要性の有無欄に「無」と記入していただきたい。なお、他の項目については、当区では「現状どおりが適当である」

としているものがほとんどである。したがって、見直しの必要があると思われる項目は、先ほどの「追加募集」のみとしたいが如何か。

－全委員賛同－

【高橋会長】

全委員より賛同いただいたので、そのようにする。それでは、他の項目の必要性の有無欄にそれぞれ「無」と記入していただきたい。見直しが必要と思われる「追加募集」については、次回予定している活動支援事業の採択方針等の協議に併せ、内容を検討することにする。なお、他にも見直した方がよいと思われる項目があった場合は、次回開催日までに事務局へその旨連絡をお願いしたい。

【高橋会長】

皆さん、他に意見等はあるか。

－全委員なし－

【高橋会長】

特にないようなので、協議事項（１）の「地域活動支援事業の検証・検討等に基づく見直しについて」は、これで閉じることにする。

【高橋会長】

次に、協議事項（２）の「自主審議事項について」協議する。これまで休止していた「勝馬投票券の特定財源」を自主審議のテーマとして再開することにしたうえで、先月、先々月は基金残額の使途を視野にした新たな地域課題について協議いただいたところである。これまでに皆さんから出してもらった意見をベースにして、今月も引き続き協議を行っていきたいと考えている。ちなみに、前回は教育・文化の分野で学校など公共施設における改修や修繕をテーマにしたらどうかという意見があった。このため、関係施設からこれまでに要望があった事案などについて、次回までに事務局の方で資料としてまとめていただきたいと思っている。他に皆さんが感じているものがあれば発言いただきたい。

【高橋会長】

私から 1 点申し上げたい。何年か前に、基金を活用し「ひばり荘」の改築が行われた。当初は、いろんな意味で同荘と地域住民との懇談をしていこうという話があったかと思うが、なかなか前に進んでいない状況である。多額の基金を使って整備したにも関わらず、地元の区内住民があまり利用していないような状況下のままで、果たし

てよいのか甚だ疑問である。これは、喫緊にどうこうするということではないが、どこかのタイミングで審議を進めていく必要があるのではないかと個人的には感じている。

【高橋委員】

区内の遊園地周辺では、春になるとあのように綺麗な桜が咲き誇るのに、あまり人を呼び込んでいるとは思えず、集客につながっていない気がしている。桜並木を見上げてみたい、散歩してみたいと思わせるような環境が整っていないのも原因の一つとして挙げられるのではないか。桜ロードを整備し、泉縄文公園までつなげるようにすれば、帰りにひばり荘の温泉にでも入ってみようかという気持ちになるかもしれない。何とか、桜を活かしたことができないかを感じているところである。また、縄文資料館が有効利用されておらず、オープンになっていない気がする。北国街道をPRしている人々と上手くコラボして、もっと賑やかにできないものかとも思っている。1点、事務局にお願いしたい。先々月から新たな地域課題の検討が行われているが、発言内容をまとめたものを参考資料として配布できないか。勿論、会議ごとに議事録が作成されているのは承知しているが、全委員がその都度見ているわけではない。1か月も過ぎると、どのような発言があったのか曖昧になり、いちいち思い出さなくてはいけない。元に戻って、話し合いをしているようなことが、これまでもあったような気がする。

【木村所長】

承知した。これまでの会議録の中から自主審議の部分を抜粋したものを参考資料として次回から用意させていただく。

【高橋会長】

いずれにしても、テーマは次回で最終的に決定したいと考えている。皆さん、それぞれ掲げるテーマについて考えてきていただきたい。

【高橋会長】

皆さん、他に意見等はあるか。

ー全委員なしー

【高橋会長】

特にないようなので、協議事項（2）の「自主審議事項について」は、これで閉じることにする。

続いて「その他」に移るが、事務局何かあるか。

【丸山班長】

- ・地域協議会だより第 47 号（平成 30 年度第 2 号）発行について報告（編集委員 2 班陸川班長より補足コメント）
- ・地域活動支援事業追加及び 3 次募集（市全体）の採択結果について報告
- ・地域協議会会長会議の会議録配布について報告
- ・活動報告会開催日時について提案
（協議の結果、3 月 2 日（土）13：30～ 会場：は一とぴあ中郷に決定）
- ・勉強会の開催について提案
（協議の結果、活動報告会終了後に引き続き行うことで決定。テーマは次回検討）

【高橋会長】

委員の皆さんから、他に何かあるか。

【竹内(靖)委員】

将来的に、地域協議会の中でも議論していかなければならないと思われる話をさせていただく。現在、まちづくり振興会では、スクールバス業務を受託し運行しているが、運転手の人材確保に非常に苦慮している状況である。今のところ、何とか運営しているが、正直なところ再来年は恐らく受けられないだろうという見解である。通園バスは何とかなると思うが、スクールバスは冬期運行や部活動が終わってからの運行があるなど、結構ハードなスケジュールとなっている。加えて、土日にも区外に出ることがあり、運転手には負担をかけている状況となっている。このため、受託しない場合の試算シミュレーションを、このたび行うことを考えている。この運行業務は、振興会にとって大切な財源となっているのは事実だが、元々は請け負っていなかった業務でもある。しかしながら、バスを運行しないことになると、中郷区にとっても不利益なことになってしまうため、運転手の確保について、皆さんからも是非声掛けを行っていただきたいと思っている。年齢は、他の区では 70 歳を超えても行っているところもあるようだが、当区においては 70 歳までとしている。中郷区以外に住まれている方でも構わないので、何とか声掛けに協力いただきたい。近い将来、振興会では運行業務は受けられないということを認識いただいたうえで、この対策については協議会の中でも何らかの形で話を出さなくてはいけないと感じている。

【高橋会長】

これは市の委託業務であるため、当然のことながら行政も絡んでくる問題である。
他の区の状況や手段なども含め、対策について検討を進めていただきたい。

【岡田副会長】

- ・地域活動フォーラムの開催結果について報告

【高橋会長】

他に発言がないため、これをもって、本日の会議を終了する。

次回の会議は、1月24日(木) 午後6時30分から「中郷区総合事務所」で行う
こととする。

(終了 午後7時35分)

9 問合せ先

中郷区総合事務所 総務・地域振興グループ

TEL : 0255-74-2411 (内線 165)

E-mail : nakago-soumu.g@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。